



2024年4月26日

各位

会社名 大平洋金属株式会社
 代表者 代表取締役社長 青山 正幸
 (コード番号 5541 東証プライム市場)
 問合せ先 取締役常務執行役員 松山 輝信
 (TEL 03-3201-6681)

売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の計上、営業外収益(持分法による投資利益)の計上
 及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期通期(2023年4月1日～2024年3月31日)において、売上原価として棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れの計上及び営業外収益として持分法による投資利益を計上するとともに、最近の業績の動向を踏まえ、2024年2月2日に発表した通期(2023年4月1日～2024年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

●売上原価(棚卸資産の簿価切下げ額の戻入れ)の内容

ニッケル事業において、当社適用LMEニッケル価格は、海外で大量生産されて市場へ供給されるニッケル銑鉄価格と比べて高い水準にあり、ステンレス生産者は価格優位性が見られるニッケル銑鉄へ一部調達をシフトしているため、この環境を踏まえ、当社の販売価格は、ニッケル銑鉄価格を一部参考とした価格水準としております。また、高水準にある原燃料価格及び電力コスト等により原材料等の在庫価額は増加しております。これらに伴い通期連結業績において、第3四半期累計期間では棚卸資産(商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品)の収益性の低下が認められ簿価切下げ額を売上原価へ2,581百万円計上してはしましたが、棚卸資産の在庫量の減少等に伴い売上原価へ1,598百万円を戻入れる見込み(売上原価の減少)となりました。そのため、通期の差し引きでは、982百万円の簿価切下げ額の見込みです。

●営業外収益(持分法による投資利益)の内容

主にフィリピンの持分法適用関連会社において、堅調な需要に支えられ、すでに計上済みの4,546百万円に加え1,506百万円計上する見込みとなり、通期連結業績においては、持分法による投資利益6,053百万円を計上する見込みとなりました。

●業績予想の修正について

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2024年2月2日発表)	百万円 15,586	百万円 △8,740	百万円 △3,242	百万円 △1,138	円 銭 △58.35
今回修正予想(B)	15,521	△9,114	△2,119	△1,074	△55.10
増減額(B-A)	△64	△374	1,122	63	
増減率(%)	△0.4	—	—	—	
(参考)前期実績(2023年3月期)	34,852	△12,588	△4,960	△5,026	△257.75

2. 修正の理由

連結業績予想につきましては、中国における不動産市場の深刻化、世界的な金融引き締め、中東やウクライナ情勢の緊迫化及びインフレ率の高止まり等の影響を受けて、経済の先行きは、依然不確実性が高い状態で推移しております。

当社フェロニッケル製品の数量面については、環境に大きな変化は見られず、収益性の観点から数量抑制の方針を継続しており、前回公表計画と同程度を見込んでおります。

損益については、フェロニッケル製品の販売価格面では、当社適用価格相場に加えて価格優位性が見られるニッケル銑鉄の価格も一部参考とした価格水準のため収入は一定程度抑えられ、また、調達価格面では、主原料であるニッケル銑石価格及び原燃料や電力の価格は引き続き高水準で推移しているため、価格面で大きな影響を与えることが見込まれます。なお、営業利益については、前回公表計画に比べ棚卸資産簿価切下げ額の戻入れが減少したことにより損失幅は

増加する一方、経常利益については、持分法による投資利益の増加により損失幅は圧縮する見込みです。

その他では、棚卸資産簿価切下げ額については、上期は追加計上の一方、下期では簿価切下げ額の縮小で戻入れとなり四半期毎に損益傾向は異なることを見込んでおります。また、特別利益へ投資有価証券売却益の計上、特別損失へは減損損失を計上する見込みとなりました。

このように、厳しい状況は継続しておりますが、こうした事業環境等への対応は、当社グループの中期経営計画において掲げる基本方針等で取り組む活動に合致しており、引き続き強く推し進めて参ります。

そのため、連結業績予想を前ページのとおり修正いたしました。なお、前提条件に関しましては以下（参考）前提条件の修正をご参照ください。

（注）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（参考）前提条件の修正

	販売数量 (t)			生産数量 (t)			適用 LME ニッケル価格 (\$/lb)			適用為替 (¥/\$)		
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期	上期	下期	通期
前回発表予想 (2024年2月2日)	3,052	2,998	6,050	3,210	2,805	6,015	10.78	8.43	9.61	140.18	146.29	143.21
今回修正予想	3,052	2,973	6,025	3,210	2,825	6,035	10.78	8.42	9.62	140.18	148.85	144.46
(参考)前期実績 (2023年3月期)	5,668	6,725	12,393	8,079	5,301	13,380	12.12	11.11	11.57	131.49	138.44	135.26

以上